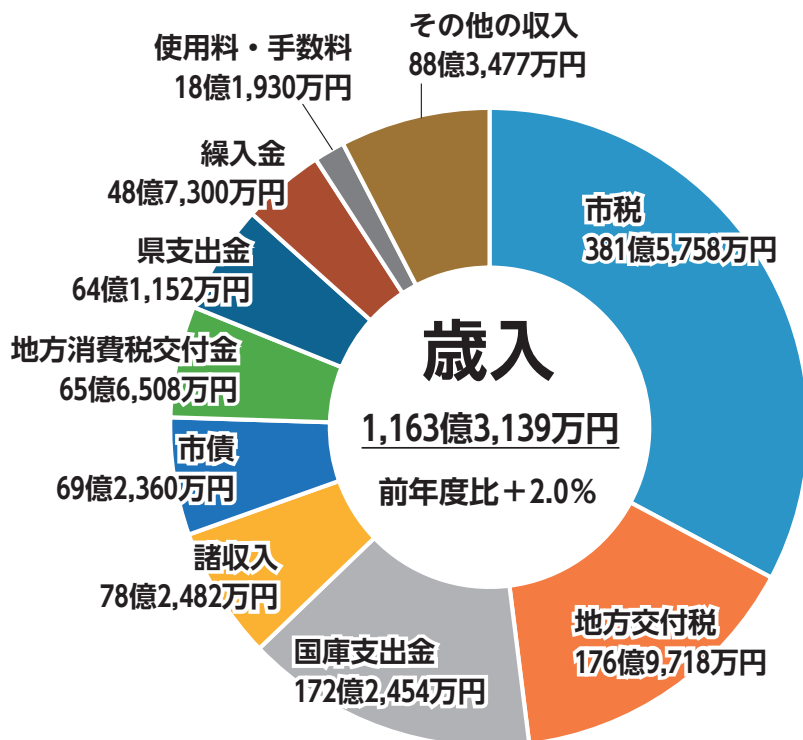


令和 6 年度松本市決算報告

●問い合わせ 財政課 (☎34-3273 📠33-1877)

一般会計歳入



市税：市民税・固定資産税など

地方交付税：一定水準の行政サービスを維持できるように国から配分されたお金

国庫支出金：国から支出された負担金・補助金・委託金

諸収入：貸し付けたお金の回収金や市預金の利子など

市債：道路や施設建設などのために借り入れたお金

地方消費税交付金：消費税のうち、地方に配分されたお金

県支出金：県から支出された負担金・補助金・委託金

繰入金：基金を取り崩したり、特別会計から繰り入れたりしたお金

使用料・手数料：市営住宅の家賃や、施設使用料など

その他：不要な土地を売り払った代金や、前年度からの繰越金など

特別会計

特定の事業を行う場合、または特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別するため、法律や条例に基づき設置している会計で、松本市には9の特別会計があります。令和6年度は6会計が黒字、3会計が収支同額となりました。

会計名	歳入	歳出	差引額
母子父子寡婦福祉資金貸付金	2,330万円	1,113万円	+1,217万円
霊園	2億7,624万円	2億572万円	+7,052万円
国民健康保険	225億5,841万円	222億2,305万円	+3億3,536万円
後期高齢者医療	39億9,135万円	38億6,769万円	+1億2,366万円
介護保険	226億8,215万円	225億9,150万円	+9,065万円

会計名	歳入	歳出	差引額
公設地方卸売市場	4億8,858万円	4億8,858万円	0円
市街地駐車場事業	2億3,361万円	2億3,361万円	0円
奈川観光施設事業	1億7,413万円	1億7,413万円	0円
松本城	14億7,246万円	12億6,968万円	+2億278万円

企業会計

民間企業と同様に利用料金などの事業収益で運営される会計で、松本市には6つの企業会計があります。令和6年度は全会計が黒字となりました。

会計名	総収益	総費用	当年度純損益
水道事業	49億3,505万円	49億2,421万円	+1,084万円
下水道事業	70億5,224万円	61億8,007万円	+8億7,217万円
農業集落排水事業	6,989万円	6,868万円	+121万円
地域排水施設事業	1億4,585万円	1億4,237万円	+348万円
病院事業	54億525万円	53億4,402万円	+6,123万円
上高地観光施設事業	5億2,353万円	4億3,548万円	+8,805万円

市債残高

松本市の市債残高は、980億2,923万円で、前年度末と比べて26億円の減となりました。

このうち、一般会計は676億5,335万円で、前年度末と比べて15億円の減、特別会計・企業会計は303億7,588万円で、前年度末と比べて11億円の減となりました。

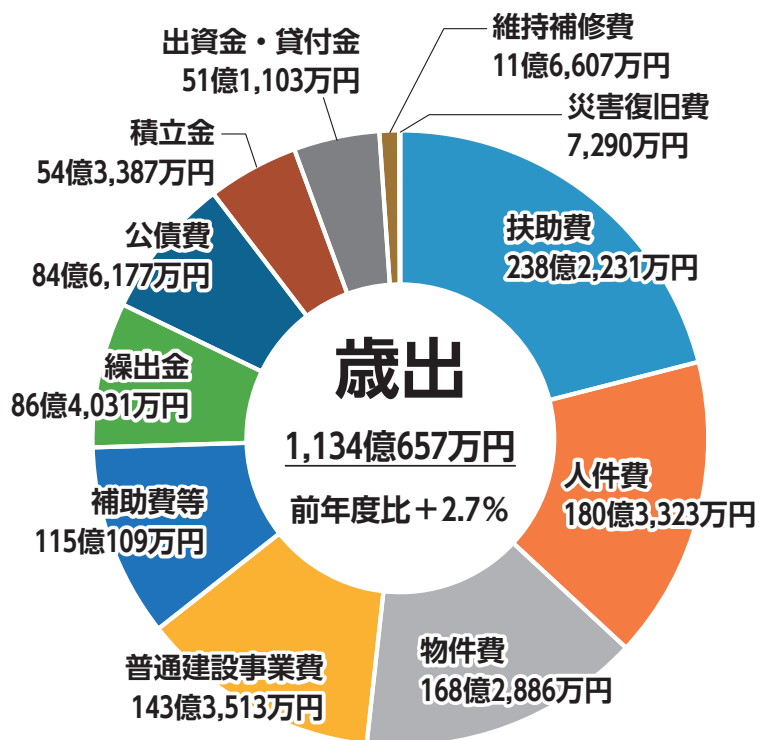
一般会計の形式収支は、29億2,482万円

(翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、25億325万円)

歳入は新型コロナウイルス関連の補助金の減などにより国庫支出金が前年度比（以下同）9.3%の減となった一方、地方交付税が10.7%増となったことから、全体では2.0%増加しました。

歳出は、補助費等が公営企業への繰出金の減などにより6.3%の減となった一方、まつもと市民芸術館や総合体育館の大規模改修などにより普通建設事業費が11.4%の増となったことから、全体では2.7%増加しました。

一般会計歳出



扶助費：生活保護費、児童手当など社会保障に関するお金

人件費：職員の給料や退職金、議員や各種委員の報酬など

物件費：公共施設の維持管理に必要な光熱水費、委託料など

普通建設事業費：道路・学校・保育園・体育施設など、公共施設の建設費

補助費等：団体や事業への補助金など

繰出金：国民健康保険や介護保険など、特別会計へ支出したお金

公債費：借入金の返済（元金と利子）

積立金：基金の積立金

出資金・貸付金：第3セクターなどへの出資や中小企業への貸付など

維持補修費：道路や公共施設の補修費

災害復旧費：災害等で被害が出た道路などの復旧費

財政指標

◆健全な財政状況（健全化判断比率）

財政の健全度を示す指標は次のとおりです。
いずれも早期健全化基準や財政再生基準を下回っており、健全な財政状況にあることを示しています。

指標名	松本市		早期健全化基準	財政再生基準
	6年度	5年度		
実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	11.25%	20.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	赤字なし	16.25%	30.0%
実質公債費比率	3.6%	3.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	将来負担なし	将来負担なし	350.0%	

実質赤字比率：普通会計（一般会計、母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計、霊園特別会計）の赤字額の割合

連結実質赤字比率：市全体の赤字額の割合

実質公債費比率：市税等の標準的な収入額のうち、市全体の借金返済額の割合

将来負担比率：将来返済がほぼ確実な借金などの残高のうち、市税等で負担する割合

資金不足比率：事業規模に対する資金不足額の割合

◆公営企業も資金の不足なし（公営企業の資金不足比率）

松本市には、公営企業に分類される会計が9会計（水道事業など6企業会計と、公設地方卸売市場など3特別会計）ありますが、資金不足を生じている会計はありませんでした。